

動物種名	臓器名	主な組織所見	病理診断名(病名)
ウシ	肺	アスペルギルスの特徴を有する真菌(一定の太さ、Y字状分岐・隔壁あり)感染を伴う血栓が多数みられ、同病変に近接して肺組織の壊死・炎症性・出血性病変が観察される。気管支内にも炎症性滲出物がみられ、気管支上皮では扁平上皮化生・上皮脱落がみられる。また、上皮脱落部においては、同様の真菌が観察される。	真菌性肺炎(真菌感染に伴う肺血栓症)
イヌ	鼠径部皮膚腫瘍	真皮から皮下織にかけて、マクロファージ、類上皮細胞および好中球の集積が多病巣性に認められる。リンパ球・形質細胞の浸潤や線維性結合組織の増生も伴っている。病巣内に、多数の縫合糸が観察される。	化膿性肉芽腫(縫合糸肉芽腫)
ラット	眼球	外顆粒層の視細胞が変性・壊死、消失している。	外顆粒層の変性・壊死
豚 (新生子豚。7日齢。生後4日目より黄白色下痢。削瘦顕著。同腹の10頭すべてで同症状。生後7日で鑑定殺)	空腸	腸絨毛の顕著な萎縮、癒合 腸上皮細胞の合胞体形成	腸上皮細胞の合胞体形成を伴った腸絨毛の顕著な萎縮 (豚のロタウイルス感染症)
イヌ	乳腺	細胞質内に大型空胞を持つ腫瘍細胞が充実状に増殖する腫瘍巣を形成している。	乳腺の脂質産生癌
ブタ	皮膚	好酸性細胞質内封入体、有棘細胞の膨化、核の空胞化、皮膚炎。	豚痘
イヌ	生殖腺	中心部に精巣組織がみられ、辺縁部に卵巣組織が観察される。精巣組織では、精子形成は認めない。また、精巣上体も認められる。卵子には様々な成熟過程が観察される。	卵精巣
ラット	腹腔内腫瘍	好塩基性の腫瘍性腎芽細胞(blastemal cell)が巢状あるいは充実性に増殖しており、その中心部に様々な成熟度の腺管が形成されている。分岐した腺管もみられる。稀に原始糸球体様構造が認められる。核分裂像の頻度は高く、腫瘍性被膜を越えて外方向への浸潤増殖がある。	腎芽腫
コツメカワウソ	大腿骨	骨質(骨梁)の減少、破骨細胞の増数、線維性結合組織の増殖(骨質吸収領域における置換)	線維性骨異栄養症
ネコ	結腸	大腸粘膜が壊死し、好中球やマクロファージを主体とする炎症細胞が重度に浸潤する。粘膜上皮細胞の細胞質内に大型の針状桿菌を認める。	ティザー病

サル	肺門部のリンパ節	中央の乾酪壊死部を取り巻いて、類上皮細胞とランゲルハンス型巨細胞が形成する結節が多発する。類上皮細胞の核は楕円形で紡錘形から立方形の豊富な細胞質を有する。類上皮の融合により形成されたランゲルハンス型巨細胞は、馬蹄状の核の配列を示す。	結核性リンパ節炎
ブタ	リンパ節	メラノーマ細胞の浸潤。多結節状に増殖し、中央部は壊死、石灰沈着。その間を埋めるようにびまん性に増殖。腫瘍細胞の細胞形態は多彩。メラニンの量は様々。正常部では、うっ血・出血、腫瘍細胞が散見（組織球様、メラノファージもあり?）。辺縁洞に浸潤。	悪性黒色腫の転移巣
ニワトリ	肝臓	<ul style="list-style-type: none"> ・肝細胞に核内封入体形成（好塩基性、fuii型が多い） ・肝細胞巣状壊死、偽好酸球浸潤 ・肝細胞空胞変性（脂肪変性） ・胆管増生 ・血管・胆管周囲に好酸性顆粒球とリンパ球集簇 	鶏封入体肝炎
フェレット	大脳	大脳皮質の萎縮、セロイドリポフスチンの神経細胞、マクログランジ（ミクログリア）内沈着、神経細胞脱落、星状膠細胞の増殖。	セロイドリポフスチン症
ラット (Brown Norway)	腎臓	腫瘍は皮質～髄質外帯を充実性に増殖。腎尿細管上皮細胞に類似した立方形～多角形の細胞質が比較的豊富で核小体が明瞭な細胞巣が多数みられ、周囲に圧排性あるいは浸潤性に増殖（出血やヘモジデリン沈着を伴う）。細胞巣は管状/充実性の増殖で、大きなものでは中心部に壊死/出血やコレステリン裂隙を伴う。核分裂像は目立たない。	腺癌 Adenocarcinoma (Streptozotocin誘発性) 同義語: Carcinoma, Renal tubule carcinoma, Renal cell carcinoma